

事務事業評価における総括

部 局 名	教育総務部	記入責任者	竹内 一郎
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育総務部の政策的事業は、27 事業のうち 20 事業で指標を達成し、S 評価としていることから、おおむね順調に進捗しています。しかし、成果はあがったものの目標値を達成できず A 評価としたものが 4 事業、実績なしと評価したものが 3 事業あることから、政策・施策目標の達成に向けて、再度事業の見直しを行う必要があります。</p> <p>教育総務課の業務計画に位置付けられた小中学校の大型備品等の整備については、限られた予算のなかで実施手法を見直したため、A 評価としています。また、教育施設課の小中学校の大規模改修については、小学校の事業は実施できましたが中学校は未実施のため、実績なしとしています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>A 評価とした小中学校の大型備品等の整備については、児童・生徒の老朽化した机・椅子の更新のために買い換えを前提としておりましたが、机の天板や椅子の座面などを修繕して対応したため、事業指標は達成できなかったものの、一定の成果をあげることができました。</p> <p>また、実績なしとした事業のうち、中学校大規模改修整備事業については予算化できなかったことが要因ですが、学校施設の経年に伴う老朽化は日々進んでおり、不具合箇所が多くなっていることから、施設整備事業や補修（小規模修繕）のなかで、安全を最優先に補修や修繕工事を実施しました。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、引き続き継続して進めていきます。</p> <p>教育総務課については、事業実施の手法を工夫するなど、教育行政の効率的・効果的な運営をさらに推進していきます。</p> <p>教育施設課については、業務計画においても優先順を上位としている、小中学校施設整備事業（浜之郷小学校屋上防水改修工事、松林中学校サッシ改修工事等）及び教育施設再整備基本計画の策定に重点を置き、事業を進めていきます。</p> <p>学務課については、中学校給食の実施方式について一定の方向性を定めるため、考えられる 5 つの方式の比較及び提供方法、学校運営上の課題などについて、茅ヶ崎市中学校給食検討会議にて検討を進めます。</p>			